漢字への関心を高める指導法への挑戦

―漢字トランプ教材の作成と活用まで―

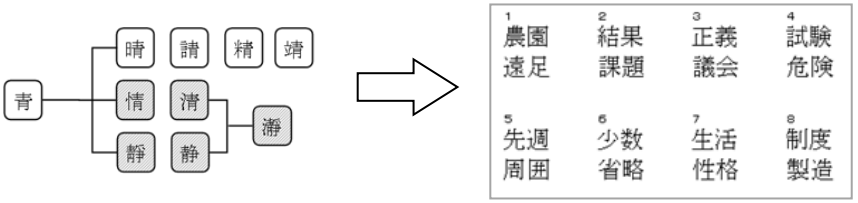
田中薫（　とよなかJSL　）

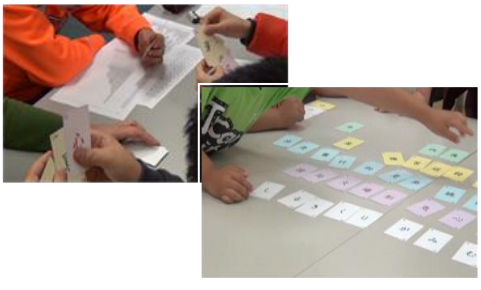
実践の場の特徴　編入してきた子どもの中に、日本語で自由に話せるのに、文章が読めず授業に楽しみを見出せない子どもが何人かいた。会話を中心に日本語を学んだ子どもだけでなく、外国からの帰国生、日本生まれの外国籍の子どもなど、聞く・話すことを中心に日本語を習得した子どもにもよく見られる傾向だった。また、訓読みの漢字がかなり読め、漢字の意味が理解できるようになっても、熟語に馴染めず教科書は読めない子どもがいることが分かった。

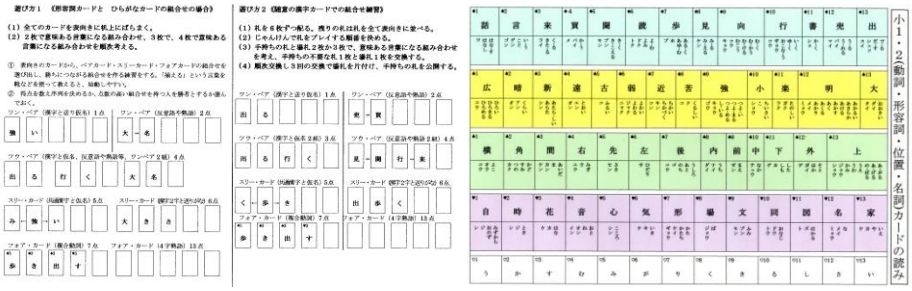
訓読みで試してみて効果があった事

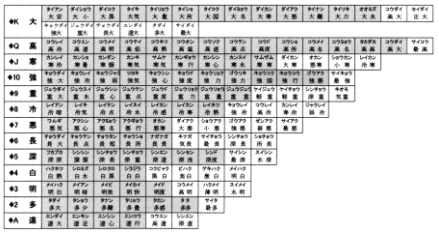
読むことに慣れる	**漢字かな交じり文にかなうち**
書くことに慣れる	図中から**象形文字**を見つける楽しみで、表意文字としての特性に親しみを持つ
漢字の特徴をつかむ	**筆ペン**で漢字の**画**(はね、止め、押さえ払い)や**筆順**の基本を理解
漢字の成り立ちへの理解	**漢字漫画テスト**で部首を活かして、漢字が関係する領域を知る
漢字のイメージを高める	**漢字ことわざカルタ**や **漢字のイメージ画**で、 漢字の形を印象づける

音読みで試してみて効果があった事

漢字のイメージを高める	「高価な図書を返却する。」など**熟語で文作り**を試みる
読む力が不足	**音義の相関**から**単語家族**を知らせ、 同音を含む熟語テストで、音から連想する力を付ける 
	教科の漢字を拾う
学習目標を持つ	**漢字トランプゲーム**で**熟語の成り立ち**の理解し、たくさん覚えることに楽しみを増やす







成果	トランプ競技への魅力	・子どもは漢字の読み方を覚えることに夢中になる。
	組み合わせの効果	・既知の漢字の意味から可能な組み合わせを連想。 ・積極的に質問し、参考にしていた組合わせ表を持ち帰り、次の対戦までに覚えたいと意欲を示した。
課題	必要時間	・ゲーム時間の確保が必要
	漢字の選出と組み合わせ	・用いる漢字によって、学習効果が変わる。 ・組合わせの量によって、漢字への興味が変わる。

実践を通じて、漢字の持つ特性を分かりやすく理解させることで、漢字そのものに興味を持たせることが大切であると痛感した。また、気軽に尋ねたり、辞書を引いてみたくなる機会が増える教材が、子どもの意欲を高める手立てとして有効だと分かった。